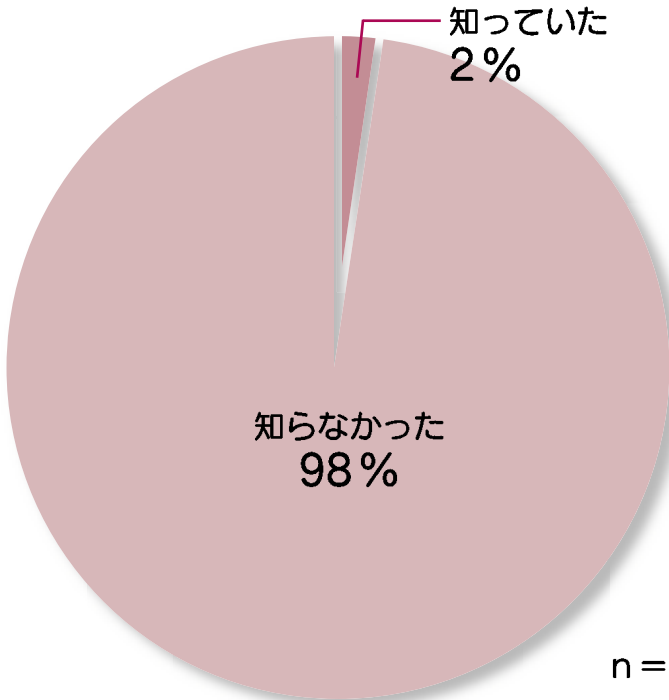


Q. 今年4月から新設された生活習慣病管理料の SMBG 指導加算について、ご存じでしたか？

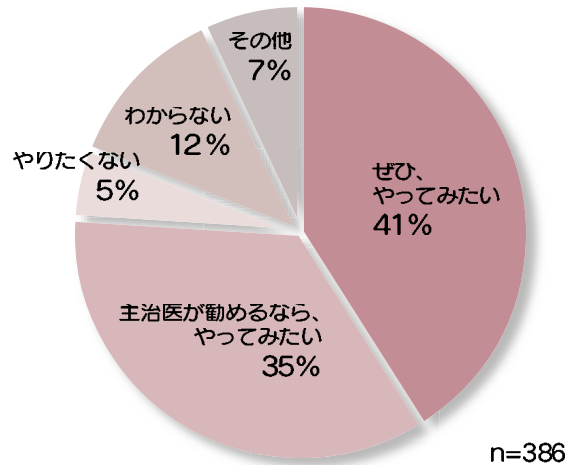


今回は2型糖尿病患者さん限定で回答いただきました。この制度について、ほとんどの患者さんは知りませんでした。しかし、できるものなら「やってみたい」と考える方は76%と患者さん達は興味津々で、SMBGの実施についても前向きに捉えていることがわかります。下図では、SMBGの実施状況と保険適用について質問してみました。すると、3人に2人の患者さんが、定期的にSMBGを行って

いると回答し、「行っていない」と回答した患者さんも大多数が「健康保険が使えるなら継続的に行いたい」と答えました。

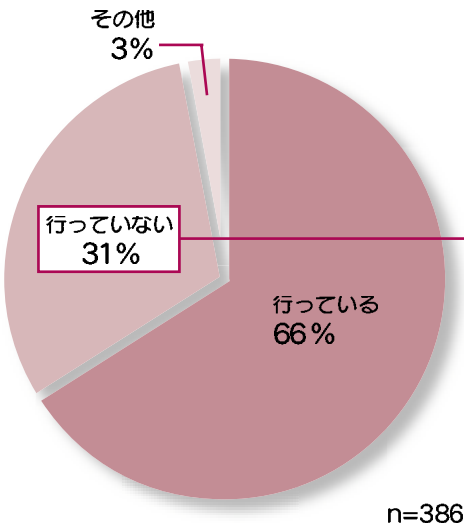
自由回答では「数値に関係なく、糖尿病と診断された人すべてに保険適用を」との意見が多数。自主的にSMBGを行い、その有用性を実感している患者さん達からは、「インスリン治療にならないために努力している人達になぜ保険が適用されないのか」痛くもかゆくもない糖尿病とい

Q. あなたが適用条件に該当した際、実施したいと思いますか？

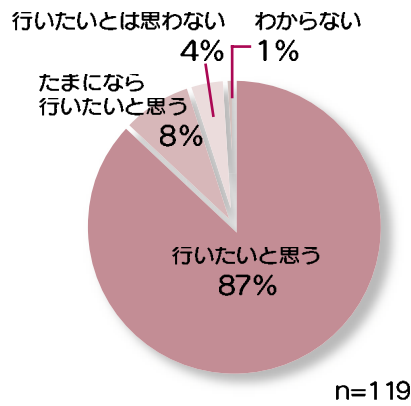


う病気の状態を知るためにSMBGは警報の働きをするもの。測定値を知って病と闘うモチベーションを維持できる」と、保険適用拡大を願う声が多く寄せられました。

Q. あなたは、定期的にSMBGを行っていますか？



Q. 健康保険が使えるなら、SMBGを行いますか？



コメンテーター

鈴木吉彦 (財)保健同人事業団診療所 所長、
日本医科大学客員教授)

「まったくないよりも進歩ではないか」という意見が多いですが、曖昧なルールが現場に混乱や誤解を生じせしめるなら、「退歩」になる可能性があります。関心がない医師が多いのはそのためでしょう。また、患者側に期待を膨らませ実際に「できない」なら失望する人が増えるだけですし、特に加算のためHbA1cを8%以上にしている人がいるでしょうか。疑問です。問題は、HbA1cが改善した後も、その良好なコントロールを維持できるためSMBGを継続できるかどうかです。必要とする全ての患者に自費でも購入できる補助制度があれば、より大きな貢献をもたらすはず。更なる見直しが必要ではないかと考えます。